

[株式会社綾野製作所・RB品番]

# 商品マニュアル



※お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。

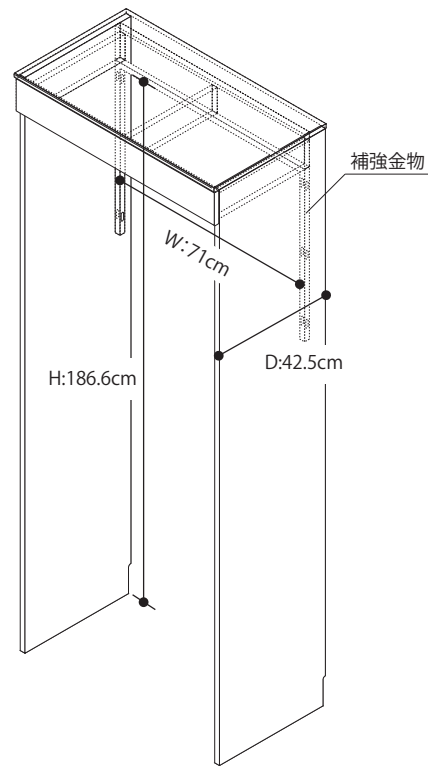
このたびは弊社商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店様までお尋ねください。  
組立・設置の前に必ず「安全上のご注意」及びこの「商品マニュアル」をお読みのうえ、正しくお使いください。

## 使用上のご注意

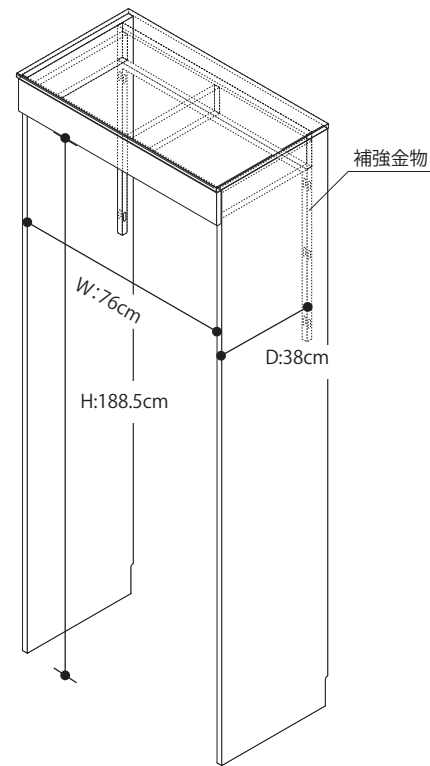
- ◎壁とキャビネットで挟み込んで、必ずどちらかは横連結をした状態でご使用ください。  
カウンタータイプのキャビネットとは使用できません。また、単体では絶対に使用しないでください。
- ◎必ず垂直に立っているか確認してください。側板が開いている状態で使用しないでください。
- ◎必ずRB品番の内寸と、使用予定の冷蔵庫の寸法、設置条件をご確認の上、それらをクリアしている状態でのみご使用ください。
- ◎周囲キャビネット、冷蔵庫キャビネットやフィラー、上置き等の設置が終了してから冷蔵庫を設置してください。

## RB品番 内寸

補強金物をこえて冷蔵庫を設置する場合の内寸



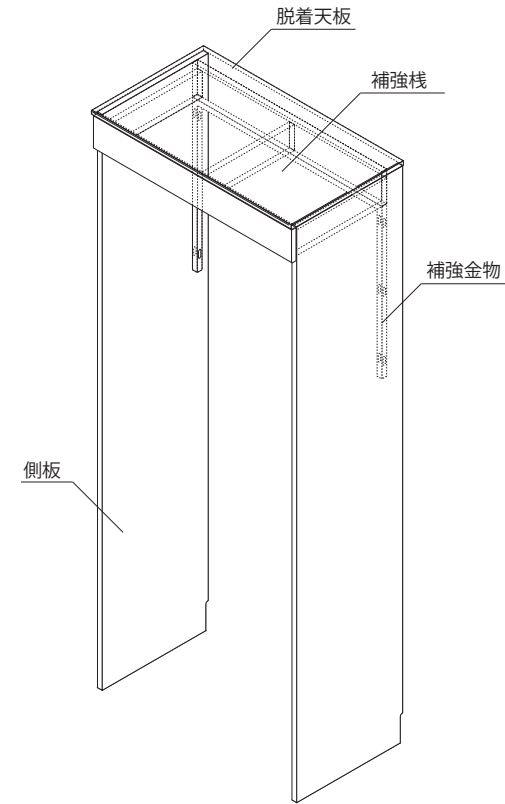
補強金物の手前に冷蔵庫を設置する場合の内寸



## 組立上のご注意

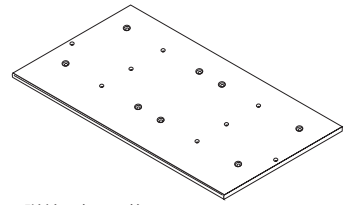
- ◎組立の際は、広い場所で行ってください。
- ◎組立作業は本書に従い、必ず二人以上で行ってください。移動や裏返す際も同様に、二人以上でしっかり持ち上げてください。
- ◎組立はキャビネット本体や床が傷つかないように敷物、またはキャビネット梱包材の上で行ってください。
- ◎必ず垂直に立っているか確認してください。側板が開いている状態で使用しないでください。

## RB品番 各部名称

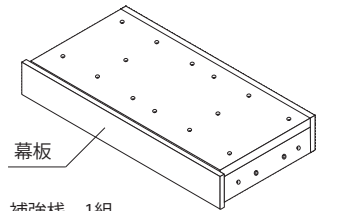


## RB品番 パーツ 明細

側板(右左) 1セット

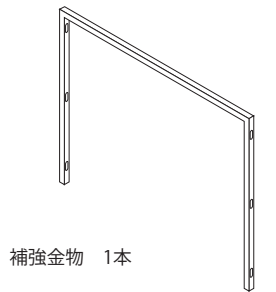


脱着天板 1枚



幕板

補強棧 1組

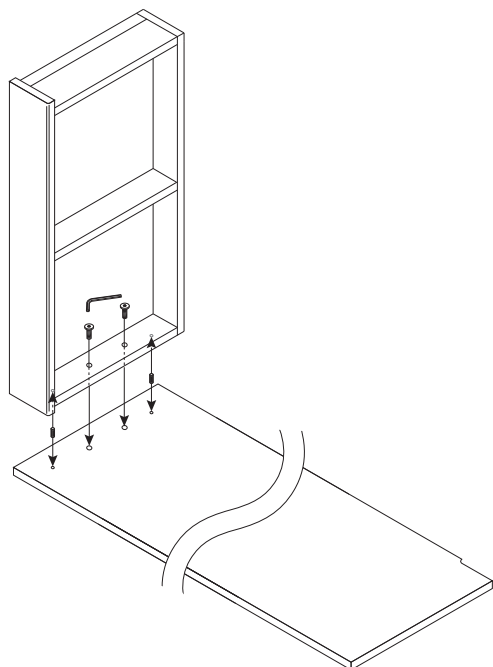


補強金物 1本

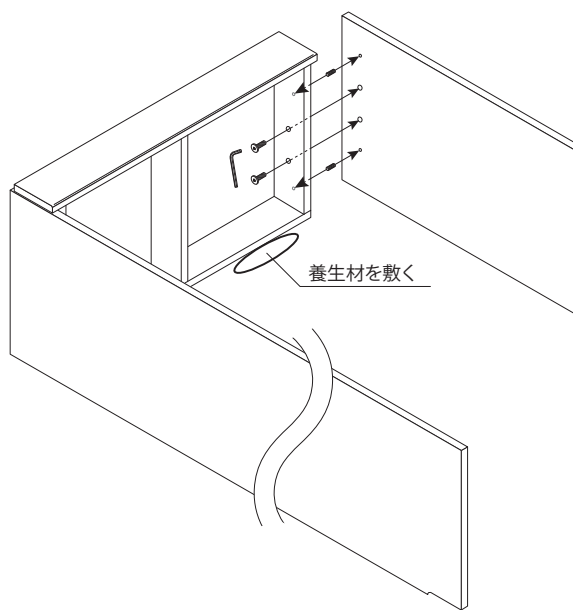
## RB品番 付属部品 明細

袋①	ボルト(M6×40) 4本 (横連結用)	連結ナット 3本 (横連結用)	連結キャップ 21個 (内、補強金物用黒色6個) (RKはすべて黒色)	穴カクシ 24個	クリアバンパー 4個
袋②	ボルト(M6×32) 14本	ボルト(M8×30) 4本	ワッシャー 6個	木ダボ 6本	六角レンチ(4mm) 1本

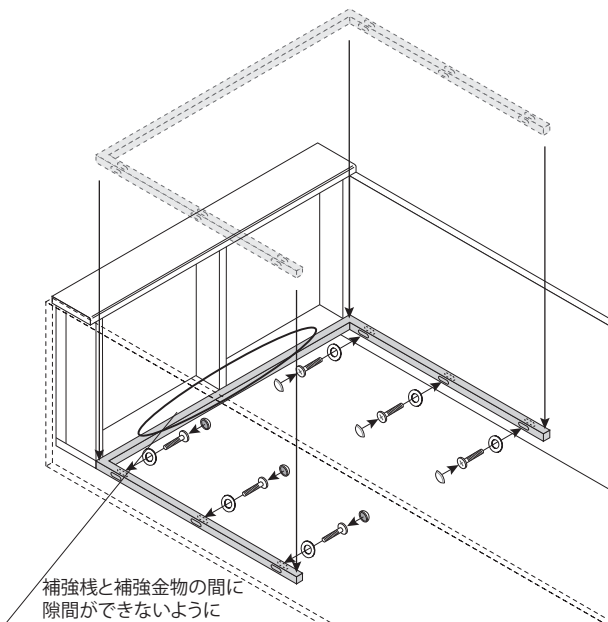
- ①側板の内側を表向きにして置きます。  
側板に位置決めの木ダボを差し込み、補強棧を設置します。  
次に、六角レンチを使いボルト(M8×30)を締め付けて側板と補強棧を固定します。



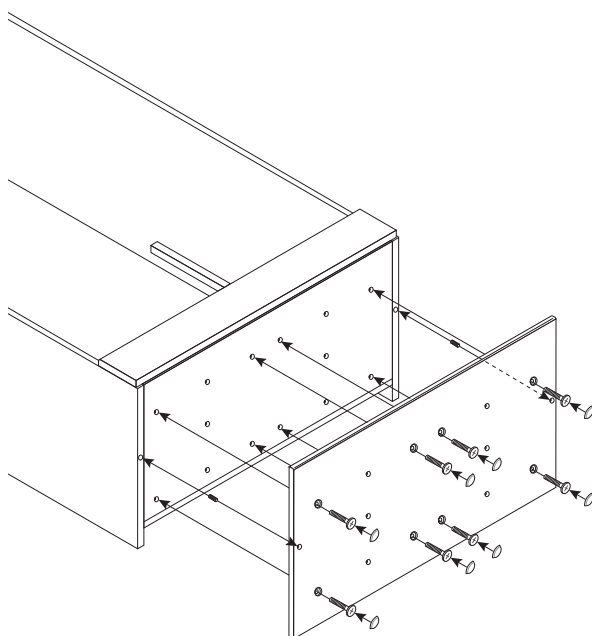
- ②補強棧の幕板が天に向くように回転させます。  
回転させる際、補強棧の下にダンボール等の養生材を敷いて水平になるようにしてください。  
①の手順を繰り返します。



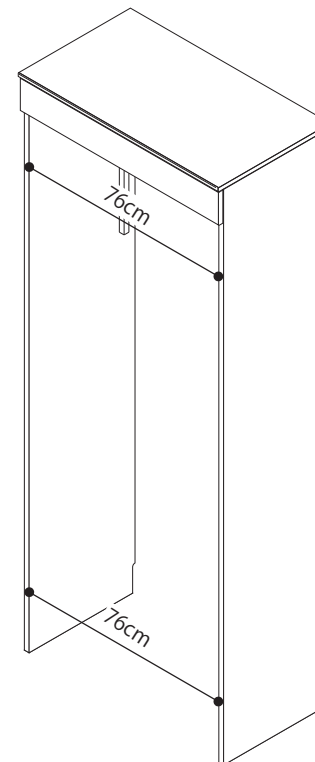
- ③側板を広げ、補強金物を間に入れます。  
印がある方が裏になりますが、裏表が入れ替わっても組立てに支障はありません。  
ワッシャーとボルト(M6×32)を組み合わせ、ドライバーで締め付けて、側板と補強金物を固定します。  
ボルトの頭に連結キャップをはめてください。



- ④側板の上部に位置決めの木ダボを差し込みます。  
木ダボに合わせ、脱着天板を設置します。  
脱着天板から補強棧に向かってボルト(M6×32)を差し込み、ドライバーで締め付けます。  
ボルトの頭に連結キャップを取り付けます。



- ⑤必ず二人以上でしっかり持ち上げ、立ててください。  
床やキャビネットを傷つけないよう十分ご注意ください。  
次に、キャビネットが垂直に立っているか確認してください。  
左右の側板から側板の内寸が76センチになるよう調整してください。  
必ず上部、下部の2か所以上採寸してご確認ください。



- ⑥壁側の側板の外側に、傷防止、開き防止のため必要に応じてクリアバンパーをお貼りください。

※キッチンキャビネットとの連結方法

一番上の穴の横連結は隣に設置するキャビネットの内部からボルト(M6×40)を入れてください。  
RB品番の側板にメネジを仕込んでいるため、連結ナットは不要です。  
その下からの横連結方法は従来の横連結方法となりますので別紙「キッチン説明書」をご確認ください。  
フィラーや上置きを設置方法も同様に別紙「キッチン説明書」をご確認ください。

